



パイプライン管理への活用について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット香川

取組概要

内容: パイプライン情報のGIS化と共に、破損箇所を入力することにより、閉じるべき仕切弁と、影響を受ける受益農地(位置、一覧)を表示する「管路断水解析ツール」を構築。

経緯: これまでの管理は、地元耕作者が経験と知見により行ってきたが、高齢化に伴い、次世代に引き継ぐため、パイプライン情報をGIS化し、水土里情報システムでの管理を行う。



パイプライン情報のGIS化

期待される効果

- ・「管路断水解析ツール」により、破損箇所や工事個所の直上流に位置する閉じるべき仕切弁を検索し、給水が出来なくなる受益地の把握が可能となる。

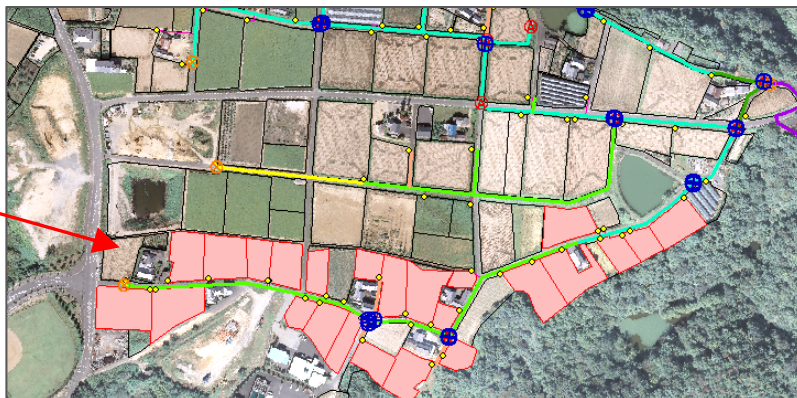
「断水箇所指定」により破損箇所を指定



「解析実行」により
①直上流の「閉じるべき仕切弁」を表示
②影響受益地の表示
(位置、一覧表)



影響受益地の抽出による二次利用も可能



今後の活用予定

- ・関係機関に「管路断水解析ツール」を紹介し、パイプライン情報のGIS化と共に、水土里情報システムの導入を推進する。

■お問い合わせ先

香川県土地改良事業団体連合会 事業課

087-822-0303(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)